

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月31日
木曽地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	21	課題区分	A		
実施機関	木曽地域振興局			担当課	所属 林務課
事業名	木曽産材の観光PR素材活用事業			電話	0264-25-2225
				E-mail	kisochi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	木曽産材を活用した木曽地域観光PR素材を作製し、木曽地域の林業振興及び木曽産材の認知度向上を図る。			
	現状と課題	台風19号災害による木曽地域への観光客入込数の減少に歯止めをかけ、観光需要を早期に回復するため、木曽地域の特長を活かした観光PRを行う必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	木曽産材を活用した観光PRグッズ(コースター)を制作し、木曽関連の各種イベント等において配布する。素材の作成に当たっては、台風19号災害からの復興PR素材「ONE NAGANO」のロゴや長野県PRキャラクター「アルクマ」を活用する。 (作製枚数) 150枚 (配布想定イベント等) ・木曽福島雪灯りの散歩路(木曽町福島) ・かまくらまつり(木曽町開田) ・木曽郡内スキー場4箇所 ・木祖村アンテナショップ「源気屋 桜山店」(名古屋市昭和区)			
	事業期間	令和2年1月		～	令和2年3月
	成果目標 (成果指標)	各種イベント等における配布用PR素材として活用し、木曽地域の観光需要の回復を図るとともに、台風19号災害からの復興機運を醸成する。			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	木曽産材の観光PR素材活用事業	木曽産材コースター作製 (ロゴ・キャラクター入り)	99,000		
	合 計		99,000		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	木曽ヒノキ製のコースター(9cm四方)を150枚作製し、袋入れする際に「木曽ヒノキ」の紹介文を封入。郡内観光地で行うONE NAGANO募金PRイベントに合わせて配布した。 【配布会場】 ・木曽路氷雪の灯祭り(木曽町) ・やぶはら高原スキー場(木祖村) ・開田高原マイアスキー場(木曽町開田) ・木曽福島スキー場(木曽町) ・ONTAKE2240(王滝村)		観光地でのイベントに合わせて配布したことにより、家族連れや若者層に木曽産品としての「木曽ヒノキ」を広くPRできた。 人気のアルクマをデザインしたことにより、子供や若い女性に積極的に手に取ってもらえた。		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	今後も、観光地イベント等、様々な機会を捉えて木曽産品としての「木曽ヒノキ」の魅力発信・PRを積極的に展開していく。				